

2005年7月14日

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）政府出展事業 長久手日本館

世界初 “ 360度全天球型映像シアター ”

# 「地球の部屋」 “バージョン3（夏休み特別バージョン）” 完成

## 「地球の部屋」 “バージョン3（夏休み特別バージョン）” 概要

タイトル：長久手日本館「地球の部屋」 “バージョン3（夏休み特別バージョン）” 約2分30秒

愛称(サブタイトル)につきましてはバージョン1・2と同様に一般公募いたします。

一般公募期間は7月21日(木)～7月31日(日)まで。長久手日本館出口と、サイバー日本館(<http://www.nippon-kan.jp>)にて応募を受け付けます。

「地球の部屋」 “バージョン3（夏休み特別バージョン）” ストーリー

上映前、深い海の中をイルカが泳いでいます。小さな子供から大人まで楽しめる「地球大冒険」の始まりです。

クジラやイルカ、たくさんの魚がいる中、巨大なザトウクジラがブリッジの下をくぐって行きます。

一匹のクジラが観客に向かって近づき、目の前で大きく口を広げ、泡とともに観客はクジラにのみ込まれます。

シアター内が暗くなり、卵の中の世界へ。上部にヒビが入り卵の殻が割れると上から巨大な親鳥が覗いています。

象の大群が行進しているサバンナの大平原に景色は変わり、象が鼻を大きく振り上げて雄叫びをあげながら、鼻から

水しぶきを吹きかけます。そこから、爬虫類が棲息するジャングルに移り、巨大な大トカゲ、アナコンダ、リクガメ・・・を

飛び越えて、断崖絶壁へジャンプ！巨大なクジラが眼前の海面から大きくジャンプして、一面クジラによる水しぶきが

上がり、宇宙空間のなかに散って行きます。土星、木星と、惑星の脇をスピードを上げながら近づいて行くと、やがて

地球が正面から迫ってきて、太陽に照らされ輝くダイナミックな地球が現れます。

### 長久手日本館の主要展示となる

「地球の部屋」 “バージョン3（夏休み特別バージョン）” をプレスの方々に公開！

7月18日(月) 閉館後の21:30～23:00 長久手日本館内 地球の部屋にて初公開いたします。

公開日：報道関係者への公開 2005年7月18日(月) 21:30～  
一般来館者への公開 2005年7月21日(木) 9:00～

地球の部屋 映像 一般上映スケジュール：

7月21日(木)～8月31日(水)	“バージョン3(夏休み特別バージョン)”	NEW!!
9月1日(木)～奇数日に上映	“バージョン2”	
9月2日(金)～偶数日に上映	“バージョン1”	

「地球の部屋」 “バージョン1” ・ “バージョン2” 愛称 (サブタイトル)

## 公募結果発表

### バージョン1

地球の部屋 “バージョン1 / 青の輝き”

(英語名: Version1 / Radiance of Blue )

### バージョン2

地球の部屋 “バージョン2 / 緑のささやき”

(英語名: Version2 / Whisper of Green )

公募期間 : 6月6日～6月15日までの10日間

(長久手日本館出口 + サイバー日本館にて応募受付)

応募総数 : 2,234通

愛称採用者: バージョン1 橋本 賢治さん (愛知県岡崎市 / 24歳・男性)

野本 奈美さん (愛知県岡崎市 / 24歳・女性)

バージョン2 石黒 美智子さん (三重県津市 / 51歳・女性)

受賞者からのコメント (採用された愛称をつけた理由):

バージョン1 … 「地球の部屋の球体スクリーンの中に入った第一印象、インスピレーションです。

このタイトルなら、この映像に相応しいと、感じたままに書きました。」(橋本さん・野本さん)

バージョン2 … 「森の中に自分が本当にいるみたいで、鳥になった気分がしました。」(石黒さん)

採用者の方には、バージョン3愛称の決定と併せて後日授賞式を実施し、日本館から記念品を贈呈いたします。